

大分教育事務所訪問 30

大分市立三佐小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「夢をもち 自ら進んで学ぶ たくましくて心豊かな三佐っ子」を育成するために、めざす子ども像を「自ら進んで学ぶ子」「さいごまであきらめない子」「つねに相手のことを思いやる心の優しい子」とし、この3つの子ども像を最上位の目標として、それぞれ「達成指標」と「重点的取組」を定めて取り組んでいます。

また、地域の方との信頼も厚く、ボランティアとして校舎内の草刈りや、プールの清掃などの協力を得られています。

今後は、学校経営計画表にある「取組項目」の各項目は、子ども達にどのような「資質・能力（3本柱）」を育成しているのかを明確にすることで、各教職員が「なんのため」に行っているのか、その目的の共通理解が深まり、組織的な実践へとつながると思いました。そして、教職員や保護者・地域が、子ども達にどの資質・能力を育てているかを意識することで、校長先生の願いである「自ら進んで学ぶ力」が育成されると思いました。



NO.147 2021年6月 大分市立三佐小学校

自ら進んで

友達に聞く前に、まずは自分で調べる。

授業から学ぶ

2年生の教室では教師の指示が明確で、やる気のある子ども達のつぶやきが増えてくると「意見のある人は手を挙げて」と指示をしていました。このような、公と私を区別するような指導は、低学年からしっかりつけさせることはとても大切だと思いました。

また、6年生の教室では、指名した子どもに音読させた後、全員を起立させ読ませることで、全ての子ども達に課題解決への意識を高める工夫をしていました。

さらに、4年生の教室では取組指標にある「自分の考えを持って授業に取り組む」子どもを増やすために、思考ツールを計画的に使用していることが掲示物からもわかりました。

他の学級でも、短時間でのペア学習や時間を意識したメリハリのある指導等、それぞれ工夫のある実践が行われていました。

今後は、そのような好事例を出し合いながら、学校をあげて取り組むことを定め、さらに短期で検証する等その成果を全職員で褒めていく機会を増やすことで、さらなる成長が期待されると思いました。



NO.145 2021年6月 大分市立三佐小学校

さいごまで

周りに流されず、自分が決めたことは、最後までやりあげる強さをもつ。



NO.146 2021年6月 大分市立三佐小学校

相手のことを

相手が何に困っているのかを聞きながら、一緒に考える。